

# 『森とせせらぎネットワーク』の活動

せせらぎネット代表 平井資嘉寿

昨秋、暖かい日射の中「第三回森とせせらぎ祭り」は大変賑やかで心温まるイベントとなりました。地域、学校、町会、地元企業等の、多大な後援とご協力を戴き、祭り当日まで熱心に検討を深め、臨んだ成果と言えるでしょう。関係者各位に改めて感謝申し上げます。

## 『活動への想いと今後の課題』

ネットの年間活動と併せ「祭り」には、ネット運営委員はもとより、沢山のスタッフが集います。老若男女を問わない、地域力の結晶とも言える活動から、いわば自然発生的に生まれた「森とせせらぎ祭り」は、高津区、中原区を結ぶ地域ふれあい活動となり、各方面から多くの期待を集めています。人口増加の著しい、この地域に適應した「新しい故郷づくり」を精神とし「子ども未来、地域ふれあい、水と緑のふるさとづくり」をテーマに将来に向けた街づくり活動として、訴えて参りました。

盛会になるにつれ、各方面からの参加者が増えて参りましたが、活発な意見交換は前提とするも『非営利的、非政治的、非宗教的活動』を基本姿勢とするに、少しの揺らぎもありません。想いは「せせらぎ遊歩道」を、地域住民、市民みんなで共有し「心のきょう街」へ発展させてゆく事。この一点にあります。

これからも、地域の皆様のご理解と、ご協力を強く期待する気持ちでいっばいです。

最後になりましたが、「森とせせらぎネットワーク」活動に、地域皆さんの益々のご指導、ご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。新年度へ向けての想いと致します。



最後に参りましたが、「森とせせらぎネットワーク」活動に、地域皆さんの益々のご指導、ご鞭撻を重ねてお願い申し上げます。新年度へ向けての想いと致します。



写真は新たな三カ年計画にそった年間計画、そして会員規約も改正し、承認を得た総会の模様です。

## 子ども達の故郷づくりの

ために  
広報部 稲本文雄

江川清冽好風光、談笑回廊氣自康。  
春夏秋冬花徑移、児曹嬉戯水邊鄉。  
（「江川」 稲本将文）

平成二十二年度を迎え、桜の舞い散る中、会員の皆様も、心新たに思いを描かれておられる事と推察致しております。

我が家の直ぐ際を流れる江川は、近隣町会や、沢山のボランティアの方々のお陰で、何時も清い流れを保ち、子ども達の良き集いの場所となっています。

散歩道としても、2km程度の距離は適度のように、笑顔で行き交う人達を見ていると、自然と心が和みます。

ほぼ100%の人口が「江川」ですが、私たちは地域の皆様のご協力を得て、子ども達の心の故郷として、何時まで残してやりたいものと、考えています。また、お祭りだけではなく、里山と江川を結ぶ回廊に因んだ色々な施策を実施すべく、日夜知恵を絞っております。

今年度も、地域の皆さんとの触れ合いを大切に、楽しい一年とすべく頑張りたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



## みんなで声掛け合って！

せせらぎネット副代表 松本浩次郎

せせらぎネットも誕生から五年経ち、五年トシをとったので、この環境に見合うネットの活動と、新しい協働者が必要だと思います。

そこで、四月四日の総会に「規約改正」と「役員体制」を提案し、承認されました。主な変更・強化点は、従来の役員会を「幹事会」に変え、意思決定を早めること、出来るだけ大勢の会員が参加する「作業部会」を新設し、小回りの利く全員参加型の活動を進められるようにしたことです。

五つの作業部会で、部長は「行事部」「総務部」が田辺勝義さん、「広報部」は稲本文雄さん、「文化部」が中谷俊文乃さん、「交通部」は柴崎秀夫さんです。夫々の部・次長さんが中心になって、皆さんの意欲と行動を結集して行きます。

「文化部」ははがき絵教室で、早くも国際交流まで始めました。「広報部」はニュースとHPに更に磨きをかけて「行事部」は周辺町会にも喜ばれるせせらぎ維持管理活動のあり方を調査・検討中です。

これからのネットの役割を皆んなで話し合い、声を掛け合って進めてゆきたいと願っています。

## 各地の祭を訪ねて⑦

賑わい作りに成功西条の酒まつり  
東広島市は、かつて広島大学が移ってきた市です。



子どもたちが活躍し、若者が輝くために  
行事部長 田辺 勝義

ネットの行事に関しては、一つはせせらぎ灯籠流しを中高生に参加してもらうこと、子どもたちがもっと活躍する場を作れたらと思っています。ローンクももう少し長くして、明津橋までは流れ着くようにしたい。

もう一つ、第四回森とせせらぎ祭りについては、若者の活躍の場を作りたいし、ゆくゆくはネットに青年グループを作り、彼らが独自の場所を持ち、自分たちで企画・運営することを目標したい。遠くない年に、彼らのエネルギーが輝くのを見てみたい。

佐藤 克明

市民の一体感を生み出すために、合併後ある地域を中心に始めたのが、毎年十月第二土日に開かれる「酒まつり」です。

この辺りは、よい水の出る井戸や湧き水が多く、全国にも知られた銘酒を造る酒蔵もたくさんあるところから、この祭になったという事でした。

私が訪ねたのは昨年です。参加費を払って、全国の銘酒の飲み放題というコーナーもあれば、濁り酒を無料で振舞っているところもあり、飲みすぎて救急車の世話になる人もかなり出たのか、たびたびサイレンの音を聞きました。ふだんは立ち入れない酒蔵のが、見学者を受け入れていました。加茂鶴、白牡丹、西条鶴など銘酒の仕込み水の井戸を訪ねるツアーもあつたようです。

一方、公園や公民館などでは子ども向けの催しもあつて、人形劇や、本の読み聞かせをしているグループもありました。「よそから来る人の祭りになってしまわない」という声も聞こえるほど、賑わいつくりには成功している、二十回目の昨年は、参加者二十万人ということでした。

## 編集後記

「森とせせらぎネットワーク」ではせせらぎ遊歩道とその周辺関係施設の維持管理活動や毎年行われる灯籠流しや森とせせらぎ祭りその他各種行事の企画から運営まで、参加していただける会員を随時募集しております。また、会員以外の方からのご意見も幅広く募集しております。

お問い合わせは事務局・田辺  
Tel 044-766-15315  
Fax 044-766-15315  
またはHPまで。



写真は今年度の総会後のお花見会の模様です。肌寒く予定されていた井田公園ではなく井田神社内にて。

# せせらぎネットの『世界文化交流』 毎月一度の一期一会

さる三月十日(水)に国際交流センターでせせらぎネット文化部は世界中の多くの国々から日本語を学ぼうと通っている外国人の方々にはがき絵教室」を体験していただくことができました。

同センターで毎月行っているはがき絵教室の中谷先生(写真前列右から三番目)に、同センター行われている日本語を学ぶ講座に通う外国人生徒に、講座が終了する最後の日に、身近な日本文化を教えていただけませんかというお願いがあり、中谷先生はなんとか日本での思い出を残して下さると喜んで引き受けたそうです。

はがき絵教室は終始笑顔の絶えない和やかな雰囲気です。「描いているみんなの笑顔を見てると世界共通だなあ」と感じました。中谷先生はおっしゃっていました。筆者も片言の英語で会話をしましたが、生徒の方々は日本語で私が英語という不思議な雰囲気の中、大変楽しい時間を過ごすことができました。

はがき絵教室は毎月一回、第一木曜日の十時から十二時まで同センター内で開かれています。皆様の参加を心よりお待ちしております。写真提供・財団法人川崎市国際交流協会交流事業担当加藤 恵美さん

記者・本間



お問い合わせ先: 044-788-7528 中谷またはHP [www.moritoseseragi.net/](http://www.moritoseseragi.net/)

# 「詩吟」 稲本吼信

日本の伝統文化とも言える詩吟は、中国の四千年の歴史をさかのぼり、「詩経」の文字が発したと言われ作られた詩が歌われていたと言われています。詩は吟詠される事を目的として作られた民謡のような物だったのでしよう。漢の武帝が、各地の民謡を収集し、曲を付けて宴席などで歌われていたとの話もあり、沢山楽府に保管されていたそうです。漢詩は詩吟とは別に進化してきましたが、平仄(ひょうそく)式の今体詩でも、そのリズムを重んじています。

日本には平安時代以前に伝わったものと言われていますが、和漢朗詠集以前の事は余り知られておられません。また、一般の人が耳にしている詩吟らしい詩吟、声調は幕末のころより、広まったものと考えられています。ともあれ、詩吟の良さは高吟の爽快感にあり、ストレス解消と健康維持に大変有効です。皆さんも是非体験してみてください。



# 「フラ・パマナ」 秋元サチ子

古代ハワイではもともと文字を持たなかった。伝説や王族を称え伝えるとして、フラ(手話)の踊りが伝わって来たといわれます。自然を敬い、祖先を大切に、未来を創る子供達を温かく包んでいます。

あいさつで交わす「アロハ」は、愛の意味がこめられています。練習は毎週月曜日十時から十二時まで、お互いのスタジオで覚えたフラを共有し合い老人ホーム・障害者施設・各種イベントにボランティアとして参加しています。祈りや感謝、愛を表現しているフラダンスを皆さんと共に楽しみたいと思っています。お問い合わせは事務局 田辺 眞 Fax 0447665315 まで。ご参加を心よりお待ちしております。

# せせらぎ遊歩道周辺の ボランティア団体紹介

## 市民健康の森を育てる会 神庭緑地を楽しむ会

江川せせらぎ遊歩道を四季の花々を観賞したり小鳥たちの囀りを聴きながらゆっくりと下っていくと、その先につづく中原区市民健康の森・通称井田山は、その隣につながる神庭(かにわ)緑地とならんで緑豊かな癒いの場所です。



池の手入れは足腰に堪えます。



この写真は、市民健康の森を育てる会のみなさん。このように季節の花を植えたり、樹木の手入れや遊歩道の整備と山の管理維持は大変な作業です。池の管理(写真右)では体積した土砂を掘り取るといった大変な重労働も行っています。



一方こちらは神庭・里山を楽しむ会(写真右)の方たちの作業の様子です。以下、楽しむ会広報の加藤さんのコメント。

神庭緑地は高津区と中原区の黎明の地と言われている神庭遺跡が発見された台地です。懐かしい昔の里山を目指し三つの古墳に見守られながらボランティア会員で、月に三回緑地保全作業を行っています。秋・冬にかけ竹林の間伐作業で汗を流し春夏は草刈り中心です。季節に合わせ様々なイベントがあり子供から大人まで季節を楽しめる会です。

ここにはタヌキやハヤブサや多くの昆虫が生息しています。また、昔からある大木や、広い竹林や植物が自生しています。

今年には締め切りましたが今月はジャガイモ栽培コンクールの植え付けも終了無農薬・有機肥料と雨と太陽の力で育ったジャガイモを六月に収穫し、コンクールの優勝者には緑地に関連する物が贈られます。夏には七夕祭りや流しそうめんも企画中!

一度、神庭緑地に遊びに来て下さい。とても気持ちのよい自然を感じられます。その際には是非この自然を次世代に引き継いでいく為みんなでマナーを守って大切に

して下さい。そして是非、仲間になって一年を通して汗を流し笑って季節を一緒に感じてみませんか。

**劇団ひとみ座**  
フリマ&小作品連続公演  
五月九日(日) 十時~十二時半  
500円 0447772225

**せせらぎネット参加団体イベント紹介**

ひとみ座寄席を楽しむ会  
五月二十九日(土) 十五時~十九時  
の二回・会員一、五〇〇円当日二、〇〇〇円

**せせらぎ人力車倶楽部**  
中原街道祭り五月二十二日(土) 十時~市民ミュージアム 04474316810

**井田お雑子保存会**  
毎週木曜日一九時~見学参加歓迎  
0447660235